

# みんななかまさ!

## 〈 きれいはいのプログラム 〉

しかい : かなざわ けいこ

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| 2、みんなで歌うた    | ♪「世界中のこどもたちが」P. 28        |
| 3、みんなでいのる    | 主のいのり P. 92               |
| 4、みんなで読むせいしょ | ヨハネによる福音書第3章 14-21節       |
| 5、みんなで歌うた    | ♪「そらのした じめんのうえ」P. 62      |
| 6、みんなで聞くおはなし | 「たいせつなものぜんぶ」すがさわ くにあき     |
| 7、みんなで歌うさんびか | 讚美歌 312番 ♪「いつくしみふかき」P. 74 |
| 8、けんきん       | ♪「いまそなえる」P. 92            |
| 9、しずかなころ     |                           |

## 〈今日の活動〉 カズーづくり

### 〈 ほうこく 〉

22日(日)は、「どんな音?」でした。タピオカのストローで、笛をつくってみました。どんな音がでるかな?音の出るしかけの穴を開けて…。長さを変えるだけでも、色んな音がでます。みんなで、鳴らしてみよう! 絵本「しろくまちゃんのほっとけーき」(作:わかやま けん/こぐま社、1972年)を読みました。しろくまちゃんが、ほっとけーきを作ります。たまごを割って、牛乳入れて…。焼き上がったら、こぐまちゃんを誘って、2人で「おいしいね」。見開きいっぱい描かれたほっとけーきの焼ける場面は、とっても美味しそうで、食べたくなりました。



活動は、バスケットボールであそぼう! まずは、1人ずつ、フリースロー大会。そして、11人对11人の、年齢混ぜこぜのバスケットボールゲームをしました。もちろん、年齢の大きい子どもたちは、投げるパワーも、ボールを奪うパワーも、迫力満点! でも、それに負けていない小さい子どもたちも、ちょこちょこ動き回って、転がってくるボールを素早くキャッチ! そして、ドリブルならぬ、持って走る! 大人は、大笑い。コートもどこまでか分からないけれど、ゲームは続く。みんなを見ていると、ほんとおもしろい。おやつは、…笑。「ほっとけーき」です。誰かに、「だからかあ…」と突っ込まれながら、どうぞ。温かいホットケーキに、マーマレードジャムを塗って、いただきました。美味しかったね。

### 〈 こどもといのる 〉

2月21日(土)からの3連休で、石垣島に行ってきました。とても心地よい気候で過ごしやすかったです。そして、夜空には、いっぱいの満天の綺麗な星が見えることが出来、癒されました。なかなか、西宮では見られない光景が素敵でした。みんなの笑顔がたくさん増えますように、祈ります。

(やまじ だい)

### 〈 おしらせ 〉

◇3月27日(金)は、「春のおでかけ」で、高取山に登ります。

◇3月30日(月)~31日(火)は、「淡路島・平安荘ワークキャンプ」です。

それぞれ、参加の対象年齢が違いますので、お知らせをよく読んで、お申込ください。待っています。

牛乳パックを集めています。集まった牛乳パックは「おかえりティッシュ」「ただいまロール」になります。牛乳パックは、44775枚から 4枚 集まりました。合計 **44779枚** になりました。2016年5月末に80000枚に到達し、2016年6月より新たにカウントをスタートしています。

2026年2月22日(日)

2月生まれの誕生日のお祝いをしました





ちやうどモーセが荒野でへびを上げたように、<sup>一四</sup>そして、  
 また上げられなければならない。<sup>一五</sup>それは彼を信じる者  
 が、すべて永遠の命を得るためである。

<sup>一六</sup>神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛し  
 て下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びない  
 で、永遠の命を得るためである。<sup>一七</sup>神が御子を世につか  
 わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、  
 この世が救われるためである。<sup>一八</sup>彼を信じる者は、さば  
 されない。信じない者は、すでにさばかれている。神の  
 ひとり子の名を信じることをしないからである。<sup>一九</sup>その  
 さばきというのは、光がこの世にきたのに、人々はその  
 おこないが悪いために、光よりもやみの方を愛したこと  
 である。<sup>二〇</sup>悪を行っている者はみな光を憎む。そして、  
 そのおこないが明るみに出されるのを恐れて、光にこよ  
 うとはしない。<sup>二一</sup>しかし、真理を行っている者は光に來  
 る。その人のおこないの、神にあってなされたというこ  
 とが、明らかにされるためである。